

美園トーク スタジアム

'19-20
season

《意見交換成果とりまとめ》

まちづくり進捗報告・意見交換会「美園トークスタジアム'19-20season」実施概要

- 日 時： 2020年2月1日(土) 10:00~12:00
- 場 所： 埼玉りそな銀行浦和美園出張所 2Fセミナールーム
- 主 催： 美園タウンマネジメント協会・みその都市デザイン協議会
- 企画運営： (一社)美園タウンマネジメント、さいたま市(未来都市推進部/浦和東部まちづくり事務所)
- 協 力： (株)埼玉りそな銀行(浦和中央支店浦和美園出張所)



綾瀬川遊歩道

現状と活用アイデア

- 夜は、照明もなく暗いため、人通りがない。
 - 沿川に目的地(お店等)がない。
 - 目黒川のように、桜を植樹。⇒ライトアップして夜桜も楽しむ。
 - 川に船を運行。
 - 沿川への名所づくり。
 - 見沼の農との連携。
- 仮設店舗やトイレ等(海の家ならぬ川の家)の歩行回遊拠点の設置。

大門上池調節池 底面広場

活用アイデア

- ドローン免許の取得地(あまり事例ないので、これだけで価値を生みそう)。
- 空の広さを生かして気球を飛ばす。
- 映画やテレビのロケ地(業界から重宝されそう)。
- 仮設でもよいのでトイレがほしい。
- 白鳥が来るようなビオトープ整備。

美園地区全体について

良いところ

- 都心から近い豊かな自然(←貴重!!)。
- 純粹に「美園」という地域の名前が素晴らしい。
- 空が広く感じて心地が良い。
- 埼玉スタジアム2002があり、サッカーのまち。

こんな街にしたい

- 駅東口は、目的地の多様性があり、活動が活発で、効率的かつ有意義に時間を過ごせる空間に。
- 東口と西口で異なる特性を演出
- 駅西口は、ゆったりとしたライフスタイルを過ごせる空間に。

街でのアイデア

- インスタレーション(置物)を屋外に設置(さいたま国際芸術祭とコラボ等)。
- MaaS導入と地区内飲食店のコラボによる移動の利便性向上と地域消費活性化。
- Eスクーターのラリー会場として活用。
- 美園ツアーとして、都内からSR貸切列車を走らせる。

改善すべき点

- 路線バスの停留所が少ない。
- バス停で降りてから歩くのが危ない。
- タクシーはお金がかかる。
- 自転車のシェアリングは、高齢者にとって使いづらい。
- 近場に温泉施設はあるが、浦和美園駅からのアクセスに乏しい。

良い点(交通と地域資源)

- 都内からの鉄道アクセスが良い(乗換不要)。
- 駅周辺でモビリティのシェアリングができる。
- 徒歩圏内にイオンモールがある(都内に行かなくても何でも買える)。
- 埼玉スタジアムが立地し、多くの来街者が訪れる。
- 近場に温泉施設がある。

課題

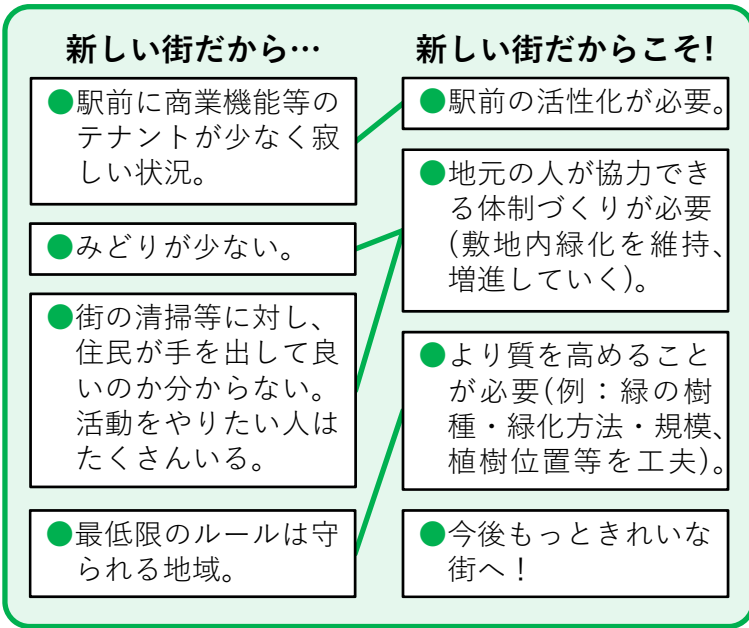
- 高齢者等交通弱者の移動手段の確保
- 来街者の移動手段の確保
- 目的地までの移動の利便性向上

改善のアイデア

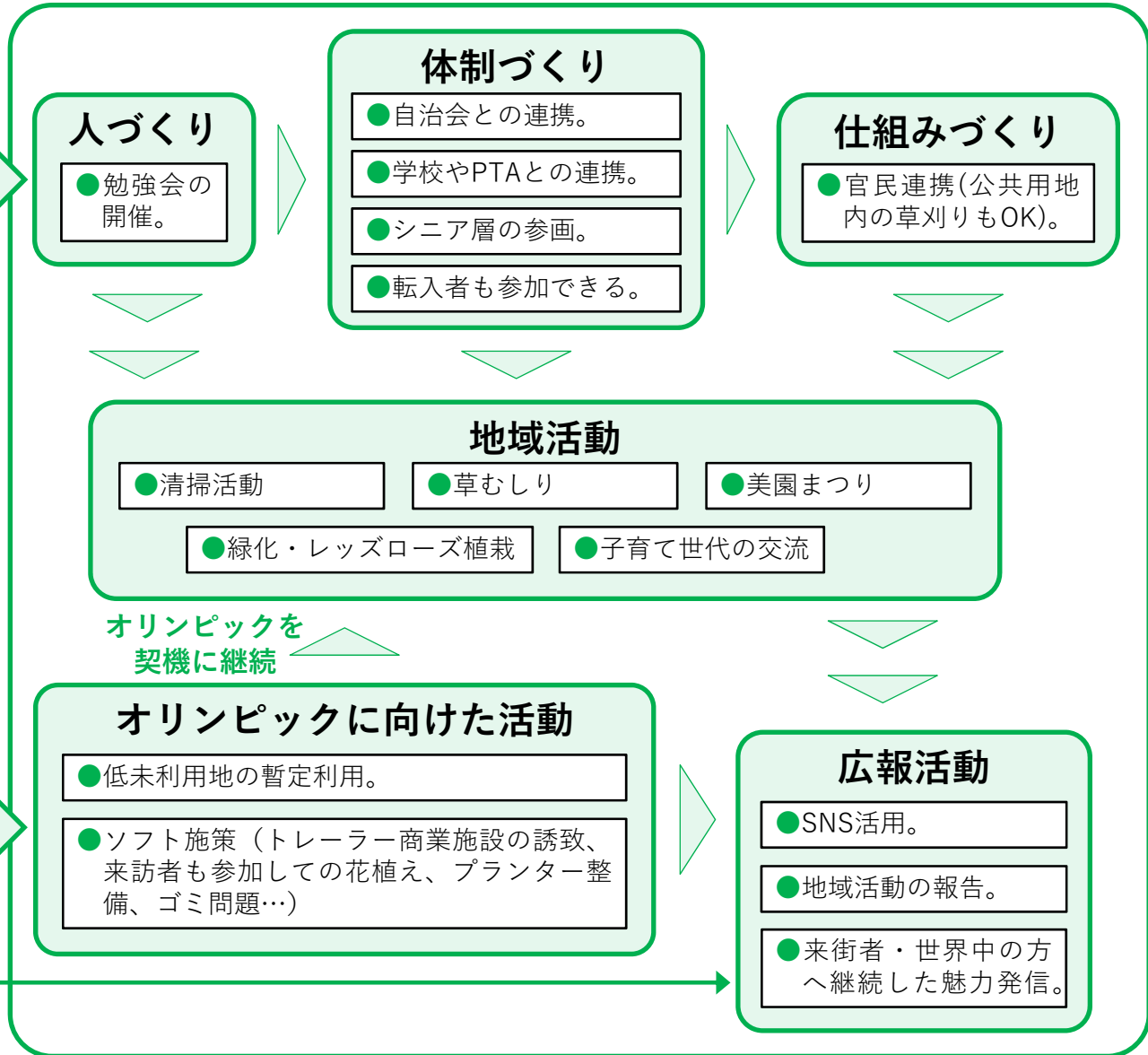
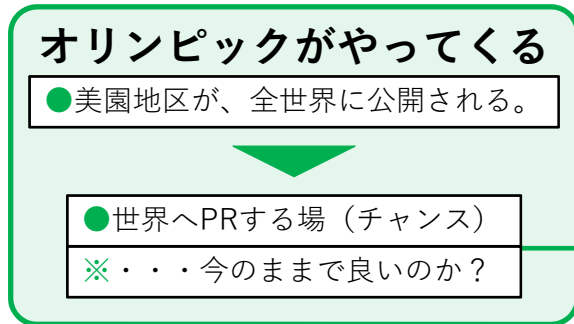
- 自転車シェアリングをより使いやすくするため、シェアリングステーションを拡大・充実。
- AI等を活用したデマンドバスの運行。
- 定額制タクシーの導入。
- 交通手段と目的地となる施設の連携。
- サッカー観戦+周辺施設(温泉等)+モビリティがセットになったチケットの販売。

今後の取り組み・出来ること

現状・課題



土地活用のキッカケ



美園の特徴

改めて・・・

- 美園は子どもが多いまち
- 美園は“スタジアムタウン”

子育て環境の現状／課題

ママについて・・・

- 近い人にこそ言えない“辛さ”や“悩み”もある。
- 見た目には分からなくとも、悩んでいる、思い詰めているママもいる。
- 子どもと離れる時間が少しでもあれば。
- 交流の場を求めている。

子どもの活動について・・・

- 家庭の生活スタイル(親の就業形態等)によって、習い事等に通えない子もいる。
- 習い事をしていない場合、「体育」以外で運動体験をする機会・習慣がないケースもある(体育だけでは運動は足りない)。
- 子どもの運動体験や運動能力に偏りが生じる。
- “美園”の小学校に通っているというメリットがあまり感じられない。

目指す子育て環境

「親(特にママ!)の笑顔あふれる環境」

- お母さんが笑顔・元気になると、子どもも元気になる。

「“スタジアムタウン”として美園らしい子どもが育つ環境」

- まちへ愛着を持ってもらい、真の意味で“ふるさと”となる。
- スポーツ等の活動が活発で、“思い出”が増えるとともに健康になる。

個々の取組(ママや子供向けの講座etc)は、美園コミュニティセンターやSRカルチャースクール等で実施されているが、個別単体では限界がある。点を線でつなげ、さらに面に広げ、つまり街全体で目指す子育て環境の実現を考えていく必要がある！！

- 無料でママたちが集まれるようなフリースペースがほしい。

- 潜在しているママの多様なニーズの掘り起こしと、それに応える環境づくり。
※「子育てシェア」のママサポがコミュニティリーダーとなってサポートできそう。

- 既存の個々の取組と「子育てシェア」のコラボ。

- 小学校の運動会を埼玉スタで！

- 美園の小学校向けのスタジアムツアー開催。

- 浦和レッズと小学校の活発な交流。

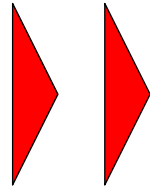
- 地域単位での運動会の開催。

- 国際試合時に他国の代表選手と子どもがふれあう機会の創出(グローバル教育の観点)。

「美園で育ててよかった」・「美園で育ててよかった」と思えるように！！

ニーズ高い地域情報

- まちの“食”に関する情報
- まちの開発状況
- 公共施設での手続き情報



地域情報に関心をもつきっかけ

- 日常生活上での副次的発見
→ 外出時に見かける街の変化。
→ 家庭やコミュニティでの話題。
- 新しく入居した時の手続き
→ 手続き出来る場所が集約されていない。
→ 各行政機関で何が出来るかわからない。
- コミュニティの必要性
→ 町会/自治会の無い“空白区域”もある。
→ もっと身近なコミュニティが欲しい。
→ 新たに転入してきた人も多く、隣家程度しか関わりがない。
※“近隣”という物理的接点を越えた趣味/興味等のテーマ型のつながりが欲しい。
- 親も関係する学校行事
→ 学校説明会
(制服はどこで買えばいいか。体操着は何着買っておけば問題ないか等)
・ 運動会
・ 授業参観

地域情報へのアクセス/接点を増やす

- 受け身でも情報が入ってくる形
→ 子供経由
→ 幼稚園や保育園、学校経由
→ 放課後クラブ
- 駅前/駅ナカをうまく使う
→ イベント開催
→ ポスター・貼り紙
- 美園コミセンを利活用
→ 「コミセンを使って何が出来るか」を発信。
→ 各種手続機能が集約できれば効率的。
- 住宅/マンション事業者へのアプローチ
→ お客さんへ情報を届けてもらう。
- “浦和レッズ”を介した接点。
- 自ら情報発信をすると反響があり、さらに情報が集まってくる循環。

個人と組織/団体の発信差異

個人(ブログ/SNS等)

- 個人の限界
・ 時間的制約
・ 情報信頼度
・ 対応可能な量の限界

組織/団体(企業等)

- 組織/団体の限界
・ 問われる費用対効果
・ 他団体との関係配慮
・ セキュリティ配慮
・ 発信のスピード感
(情報正確性と相反)



相互に欠点/限界を補い合いながら
まちを“知る”地域情報を発信することが
「まち」として必要！！